

洗心荘通信 2004 春号



花盛りの春です



生活潤い行事 5月5日(水)

毎年5月に入ると洗心荘の中庭で恒例のお花見会が賑やかに行われます。利用者さんの体調も考え、暖かくなる5月に行っているのですが、もう桜の見頃は終わり...。そこで洗心荘の中庭にも桜を咲かせてみようという利用者の方々と職員の手形、指形で、桜作りに挑戦しました。掌に絵筆で色を塗ると、くすぐったいのか笑い出す方、手形を押す順番が待ち切れずに腕まくりをして待っている方...楽しみながらの作業となりました。そして出来上がった作品を見ると、小さな手形、いかにも働き者らしい逞しい手形等、人生経験をかいた個性あふれる手形がたくさん並びました。

ご家族の方にも楽しんで頂けるよう名前も添え書きしてありますので、ぜひ探してみてくださいね。

お花見ドライブ

今年は春の訪れが早く、御柱の山出しが終わると一気に桜が咲きました。4月16日、車に乗って出かけられる2人の利用者とお花見ドライブに出かけました。横河川の桜並木で車を停めて記念撮影。そして東山田にある見事な1本の満開の桜の木を見に行きました。昨年までは洗心荘の庭にも桜の木があり、居室からでも桜のお花見ができたのに、今年は残念ながらみんなでお花見ができません。でも機会があることに出かけられたら良いな、と思います。

(上の原の新洗心荘では、目の前の上の原小学校の庭に桜の木が沢山あるので来年はみんなでお花見ができそうです)



白寿 今井けさゑさん

おめでとう！！

3月初旬に入所された今井けさゑさんの白寿の御祝いを、3月31日の誕生会に行いました。今井さん自身少し緊張している様子でしたが、みんなからの御祝いの言葉に耳を傾け、演芸では目を細めながら楽しんでいる様子でした。



給食より「鯛のお頭」が振舞われました！
誕生会の様子です！

最後には「ありがとう」と満面の笑みでお礼を言っていました。折り紙を折るのが得意な今井さん、これからもお元気で私達にたくさんのお作品を見せてくださいね。

恒例 人間雑！！

ひな祭り会



3月3日(水)洗心荘の雛祭り会が食堂で行われました。お内裏様とお雛様に変身した2名の利用者が会場に登場すると、一斉に拍手が起こり「可愛い」「きれい」等の声が上がりました。人間雑の2人は恥ずかしそうに下を向いたり照れ笑いを浮かべたりしていました。本当に素敵なお内裏様とお雛様で、2人とも着物姿がよくお似合いでした。その後、4チームに分かれて、チーム対抗のミニゲームを行いました。どのチームも一位を目指して一生懸命でした。笑顔の絶えない雛祭り会で利用者も職員もとても楽しい時間を過ごせたと思います。

医務室便り

～ 白内障～

高齢化社会の現在、白内障による見えにくさを感じる人の割合も増えてきています。最近では白内障の手術方法も進歩し手術も受けやすくなりました。

○白内障手術の最近の進歩○

- 1 麻酔は簡単に (目の表面近くのみ麻酔)
- 2 超音波を使う (傷口は3ミリくらいでよい)
- 3 折り畳める人工レンズ (傷口は3ミリくらいでよい)
- 4 入院期間の短縮 (日帰りの手術も可能に)
- 5 後発白内障の治療 (外来で治療できる)
- 6 2枚重ねの人工レンズ、遠近両用レンズ

白内障の手術は様々な進歩・改良によって短時間でしかも安全に出来るようになってきました。入院期間も短くなってきています。しかもよく見えます。

そのため手術をする時期も早くなり、見えにくさを自覚したらそろそろ手術を考えても良いだろうという方向になってきています。

ボランティア紹介

～ 生花教室指導

宮坂保子先生～



宮坂保子先生には、毎月第三水曜日、生花教室の指導をボランティアでお願いしています。

毎月第三水曜日の午前中になると、お花の良い香りに包まれた食堂に利用者さんが集まります。皆が集まると、生花教室の始まりです。先生に丈をそろえてもらったお花を慎重な手付きで活けていきます。利用者さんの中には以前生花を習ったことがある方もおり、バランスを見ながら上手に活けていきます。また、生花の経験のない利用者の方も男性の利用者の方も積極的に参加され、先生に手を添えていただきながら活けていきます。利用者の皆さんは、きれいなお花に囲まれるといつもより会話も弾むようで、「きれいだね。」「上手にできたね。」「花はいいねえ。」など皆でお話しながら楽しく生花教室が行われています。活けられたお花は食堂や玄関に飾られ、利用者、職員の目を楽しませてくれています。

お花が好きな方、綺麗なお花に包まれながら楽しいおしゃべりをしたい方生花教室にを参加してみませんか？毎月第三水曜日 10時より食堂にて皆で楽しくやっています。

新・洗心荘の建設状況をお知らせします。～ 工事順調 ～



新型洗心荘の5月分の建設状況を報告します。工区を西からA、B、C、Dの四つの工区に分け工事を進めておりますが、工事工程としてはA・B工区の1階躯体工事から2階躯体工事に移る段階に入っており、現在左の写真のような状況となっております。

当初、玄関は風除効率が高いことから回転ドアを予定しておりましたが、あの「六本木ヒルズ」の事故が発生したため、安全性を考慮し、通常の自動ドアを2箇所取り付けの形で設計変更することになりました。

国の方針が打ち出され、特別養護老人ホームは全室個室、ユニットケアの導入が進められています。洗心荘でも来年度開設の新洗心荘に向けて、昨年度より取り組みを始めています。洗心荘通信でも「ニュークックチル」「ユニット茶会・ユニット昼食の取り組みについて」等お伝えしてきました。

開設まであと1年と迫り、職員一同ユニットケアについて理解と経験を深めていくため、そしてスムーズにユニットケアに移行できるように、既存の洗心荘にて6月よりユニットケアの試行を次のとおり行っていくことになりました。

利用者9名で構成されたユニットを1つ作り、職員1名でサービスを提供します。2階の207号室の4名、208号室の4名ともう1名、合計9名の利用者を対象とします。

セミプライベートゾーンとしてのリビングを207号室、208号室の前に仕切りをして作ります。リビング(セミプライベートゾーン)で、ユニットメンバーは食事等をします

ユニットケアでは、皆で食事の準備・片付け等を行いながら、利用者の生きがい、個人の役割などを見出していきます。

このように2階の奥のスペースに1つのユニットが作られ、1グループの生活が営まれるわけです。6月からの試行では、1ユニットだけ作り、そこで試行・検証を繰り返し、より良いユニットケアを模索していきます。ユニット対象以外の41名の利用者さんにつきましては今までのサービス内容は変わりません。

以上のように試行を行っていきたいと考えておりますので、利用者、ご家族の皆様にはご迷惑をおかけする点もあるかと思いますが、職員一同精一杯取り組み、皆様にご満足いただける新洗心荘を作りたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

また、ユニットケアの試行に伴い、大幅な居室移動を5月に予定しています。多くの利用者が居室変更となります。今回に限りご希望どおりの居室に添えない場合があるかと思いますが、皆様のご理解をお願い致します。



給食だより

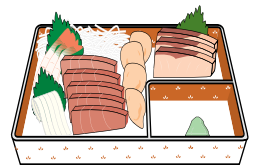
新緑が眩しい季節ですね。『目に青葉 山時鳥 初鯉』とあるようにこれからの季節、旬の魚といえば「鯉」です。昔の江戸っ子は、鯉を食べてこそ夏を迎えられると、先を競って初鯉を食したと言われています。

回遊魚の鯉の旬は初夏と秋の2回。初夏に黒潮にのって北上してくる鯉は「初鯉」、一方秋に南下するのが「もどり鯉」。

初鯉はさっぱりした味わいに対し、もどり鯉は脂がのっていておいしくいただけます。調理法も刺身、煮付、角煮、その他胃・腸・肝臓からは酒盗(しゅとう)と呼ぶ塩辛が作られます。

洗心荘の献立にも利用者の皆さんの大好きな刺身として、近日常に鯉の刺身を出す予定です。やはり旬の食材は季節感が味わえ、おいしくいただけます。

洗心荘の食事でも利用者の皆さんに喜んでいただけるよう、旬の食材を使っていきたいと思っております。



編集後記

○玄関に飾る誕生者の写真のバックの風景に寒い時期は困るのですが、この時期はちよつと見渡せばすぐに色々な花が目につきます。休みの度に今度は「どこに写真を撮りに行こうか」と考えています。

(長谷)

○あたたかい日は日向でお昼寝が気持ち良いです。寝ても寝てもどうして眠いのでしょうか。(丸)

決算発表時期を迎え、どこの企業も忙しい時期だと思えます。当法人でも株主総会ならぬ理事会・評議員会が迫っており、必死で資料作りに励んでおります。今は会計ソフトで楽になりませんがそれでも十事業所の会計は多い。(上)